本物の力を引き出す

R-進学塾

予備校部門案内書

2023年度

始めに一言

「Ｒ」の理念
高知から、難関大学へ

高知県に、全国と互角以上に戦える予備校を作りたい･･･それが私たちの思いです。

Ｒ－進学塾は2002年に、数理専門進学塾として産声を上げました。以来、優秀な生徒に恵まれ、東京大学・京都大学をはじめ、多くの大学に卒業生を送り出してきました。

一方で、力及ばず不合格となる生徒も少なからずおりました。彼らのうちの何名かは、浪人生としての一年をＲと共に過ごす決断をし、翌年見事悔しさを晴らしてくれました。

しかし当時のＲでは予備校としての認知が薄かったことがネックとなり、多くの生徒が県外の大手予備校を選択したことも事実。彼らの中には、もちろん素晴らしい結果を残した者もおりました。が、環境の変化がもたらすストレスに対応できず、不本意な結果に終わる者もまた多かったのです。

地元にも、全国の受験生と互角に渡り合えるだけの環境があれば、彼らの結果も変わっていたのではないか･･･、そういう生徒を見るたびに、私たちもまた、彼らの悔しさを共有してきたのです。

高知にいながら、全国と戦える環境を、本気で大学受験を目指す全ての受験生の思いを受け止められるだけの環境を作りたい。その思いから、2009年に晴れて一般的な入試科目をすべて網羅した予備校となりました。それに伴い予備校部でも本格的に医学部受験生・文系生の受け入れを開始、以来、理工系学部だけでなく、医歯薬系学部、文系学部にも多くの卒業生を送り出してきました。

難関・中堅を問わず、高知県《合格実績NO．１》の予備校

他にはない完璧な授業で数・理を武器にすることにより高い合格実績を可能にします。是非、体験を通して実感して欲しいと思います。今まで、学校・他の塾等で経験している授業は『解法を披露する』ことが殆どではなかったのではないでしょうか？Ｒの授業では、問題を見たとき、どこを読み、何をするのか・出来るのか！ということを徹底して指導していきます。解法の前の根本的な理解を養うことにより、より多くの問題が同じ問題に感じるようにしていくのです。

また、Ｒは理数系中心と思われている人も多いかもしれませんが、英語・国語に関してもしっかりとした授業を展開します。だからこそ国公立医学部の合格実績はここまで出ていると思っています。（次ページの実績を是非見てください！）

予備校部門の主な合格実績

2010-2022（現役部門含まず）

国公立大学

東京大	12	京都大	19	大阪大	19
東工大	4	一橋大	2	旧七帝大	計82名 北海道・東北・東京・名古屋・京都・大阪・九州
医-医	計77名	歯学部	8	薬学部	18
神戸大	10	岡山大	13	広島大	6
四国内大	計124名 高知・高知県立・高知工科・徳島・香川・愛媛				

他多数

私立大学

早稲田大	37	慶應義塾大	24
東京理科大	50	医-医	計29名
関関同立 関西学院・関西・同志社・立命館	計182名	MARCH 明治・青山・立教・中央・法政	計71名
歯学部	17	薬学部	51

他多数

現役部門込みの実績はホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

本気の生徒にとことん付き合う！

（自習室は22：00まで解放）

確実に成績を上げることがＲの使命です。そのための魔法は授業だけであり、それをものにするために、生徒にはそれなりの時間を負担してもらうことになります。しかし、放課後、自宅で勉強というのも難しいのではないでしょうか？本気で勉強しようとしたとき、自習室も20：00までとなったら…　本気の生徒に本気で相手をしたいので、Ｒの自習室は22：00まで解放します。また、得意科目の強化・苦手科目の克服のため、18：30～21：40は現役コースの授業の併用も出来ます。

（数・理の添削は時間の無駄だ！）

文系科目はともかく、理系科目の添削はほとんど意味をなしません。それは参考書を読む行為よりも劣ることと考えます。問題を解いているときに、何を思い・感じたのか？それをすぐに修正しないと本物の力はつきにくいのです。添削では、提出して帰ってくるまでのタイムラグが生じてしまうため、その時自分が何を思ったのかを忘れてしまい、結局解答を読むだけの勉強になってしまいがちです。数・理は解法を暗記することでは成績は上がりません。本質の理解を養うためには生徒の反応を見ながら教え込む必要があるのです。

（面倒見とは何か？）

休み時間はもちろん、22：00までＲではとにかく質問を受け付けます。生徒と形だけの付き合いではなく、生で向き合い、言葉を交わすことで、本当の信頼関係が築かれます。この信頼により、生徒も本気で取り組み、結果、高い合格実績につながるのです。

予備校部門前期時間割

	月	火	水	木	金	土
8:30～9:30	生徒学習					
9:40～10:00	英単語テスト					
10:10～13:00	強化週間授業					
13:00～14:00	昼休み・掃除					
14:00～15:10	文系数学 理系数学	物理 生物	英語	文系数学 理系数学	物理 生物	英語
15:20～16:30	英語	化学 文系社会	文系数学 理系数学	理科基礎 理系数学	国語	化学 文系社会
放課後						

※時間割は一例です。年度により異なります。

前期授業（４月～７月）　「強化週間」で一気に基礎力を錬成する

Ｒ一進学塾では、前期授業において各教科の「強化週間」を設け、基礎的な内容を完璧に習得することを授業方針としています。

強化週間では、各教科の基礎力の錬成を目指します。ただし、Ｒの考える基礎力とは「簡単な内容」のことではなく、教科の全体像を把握する上で「入試に必要な全ての知識」を指しています。

Ｒの強化週間とは、勉強効率の向上の為に短期間で特定の科目に集中し、急速な成長を実現することを目指した手法です。

苦手だと思っていた教科でも、しっかりと全体像をとらえることで得意にもなり得るものです。実際Ｒでは、現役時代苦手であった科目を武器として東京大学・京都大学・大阪大学等、難関大学に合格した例が多々あります。それを可能とするのがこの強化週間なのです。

Ｒの優れた合格実績は、この強化週間に支えられているのです。

夏期講座（８月）　基礎力の完成から実践へ

前期期間に学んだ基礎力を確認しつつ、実践演習に入っていきます。「夏を制するものは受験を制す」の言葉通り、Ｒの夏期講座は入試に向けて、非常に大きな意味を持っています。ここでしっかり基礎力を定着させることにより、後期に向けて弾みがつくはずです。

前期の学習を終えて各教科の全体像が見えてくれば、受験に向けた具体的なイメージもおぼろげながら浮かんできているはずです。自身の目標を改めて確認し、そこに向けて足りないものを見極め、後期に向けた準備をしっかり整えましょう。

予備校部門後期時間割

	月	火	水	木	金	土
8:30～9:30	生徒学習					
9:40～10:00	英単語テスト					
10:10～13:00	理科最水 基礎理科	数学最水 基礎数学	国語	物理 生物	英語	社会
13:00～14:00	昼休み・掃除					
14:00～15:10	文系数学 理系数学	物理 生物	英語	文系数学 理系数学	物理 生物	英語
15:20～16:30	英語	化学 文系社会	文系数学 理系数学	理科基礎 理系数学	国語	化学 文系社会
放課後						

※時間割は一例です。年度により異なります。

後期授業（９月～１２月）　それぞれの目標に向けて

後期期間には進路別の授業を充実させ、それぞれの目標に向けた学習を進めていきます。先に説明したとおり、「入試に必要な全ての知識」＝基礎力は、前期期間に全て学び終えているはずです。

後期期間はそれぞれの基礎力の習得の度合いに応じて、取り組むべき課題が変わってきます。徹底した反復練習で基礎の完成を目指す人もいれば、より高度な問題演習の中でこれまで学んだ内容を得点に結びつける術を身につける人もいます。

冬期講座～直前期（１月～２月）　最後のもう一伸び

冬期講座以降はマーク式問題演習を重ね、積み重ねてきた実力を大学入学共通テストに結実させます。ここまでしっかり努力してきた生徒たちならば、前年の同時期と比べて、自身の飛躍的な成長を実感し、自分を信じて本番に望めることでしょう。

共通テストが終わればいよいよ二次試験に向けての勉強が始まります。大学入学共通テスト終了後約1ヶ月間にわたる二次試験直前講座に加え、それぞれの志望校に応じた個別サポートで合格を勝ち取り、1年を素晴らしい結果で締めくくりましょう。

仲間と共に掴む合格（班別学習と担任制度）

「受験は団体戦」

大学受験という場においては、周りは皆がライバル。身近な人間を蹴落としてでも自分自身の合格をもぎ取ることが何よりも大切。受験は孤独との戦いだ…そんな風に考えている受験生も多いようです。

しかし、一人だけでもがんばれる人間はそんなに多くはありません。自分だけで定めた目標は、自分一人が諦めてしまえばそれでおしまいです。「次の定期試験こそは！！」そんな風に決意して、結局決意をしただけに終わった経験、ありませんか？

R-進学塾のコンセプトは「受験は団体戦」。Rの浪人生は共通の目的をもった最良の仲間だと考えます。互いに協力し合い、職員と浪人生みんなで合格をつかむ。それをR-進学塾としては望んでいます。

班と担任制度

Rの浪人生は、10名程度の班に分かれます。浪人生活を続けるなかで、困ったことや迷うことがある…そんな時には各班の担任職員に相談して下さい。担任職員は定期的に面談を行い、個々の学習状況や生活状況を把握し、様々な点で的確なアドバイスをしていきます。生徒同士の絆だけでなく、職員と生徒の絆もまた、合格を勝ち取る為にとても重要なものです。

入塾を検討される方へ

入塾をご検討いただく際の、簡単な流れをご説明いたします。

1　説明会・個別面談（生徒・保護者様）

Ｒ−進学塾の授業を実際に体験していただく前に、生徒・保護者様に説明会にご参加頂くか、あるいは個別面談においでいただきます。紙面ではお伝えしきれない職員の思いや、予備校の雰囲気を感じとっていただくためにも是非ご参加していただくようお願いしております。

説明会の日程は別紙ご案内の通りです。また、個別面談をご希望の場合はお電話を頂いた上で、面接の日時を設定いたします。

なお、面談は２月下旬頃より随時開始いたしますが、より早い時期の面談をご希望の方はお申し出下さい。２月初旬より来年へのスタートを切る生徒のために、先行体験講座を設定しております。

2　春期講座（体験授業）

実際にＲの授業を体験し、その質を感じて下さい。多くの方にその質の高さを感じていただけることでしょう。これから先の一年間、Ｒで過ごす動機としては十分なものとなるはずです。

3　正式入塾

入塾の決意を固めたら、職員にお申し出下さい。春期講座中より随時受け付けております。必要書類をご提出いただき、正式に入塾が決定いたします。

なお、本年度の予備校部門は定員６０名を予定しております。申込人数が定員に達し次第、募集を締め切らせていただきますので、その旨ご了承下さい。

R 年間学費について

「個人個人に合わせた時間割」

R-進学塾では、17:30までの時間を予備校時間、それ以降の時間を放課後としております。放課後には現役生と合同の授業を開講しており、予備校生の合同授業への参加は自由登録制としております。つまり放課後は、自習室で勉強する、合同授業に参加する、帰宅するなどのように自由度の高い時間としています。それに伴い、年間学費も個人に合わせて様々なプランが作成できますので、下記をご覧ください。

予備校時間料金

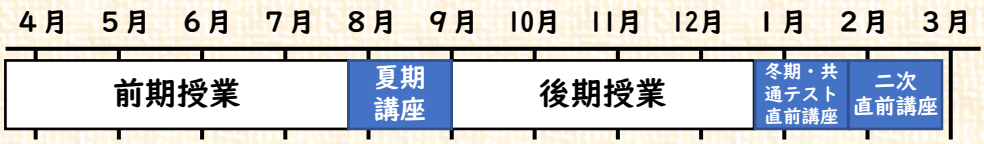
［理系］

予備校時間の１年にかかる料金	
①年間模試代金	￥40,000
②前期浪人授業料金※1	￥390,000
③前期施設使用料金	￥30,000
④後期浪人授業料金※2	￥390,000
⑤後期施設使用料金	￥30,000
年間予備校時間料金	**￥880,000**

［文系］

予備校時間の１年にかかる料金	
①年間模試代金	￥40,000
②前期浪人授業料金※1’	￥340,000
③前期施設使用料金	￥30,000
④後期浪人授業料金※2’	￥340,000
⑤後期施設使用料金	￥30,000
年間予備校時間料金	**￥780,000**

※1　前期浪人授業料金には、４～７月の予備校時間の授業料＋夏期講座５コマ分の授業料を含みます。
※1’前期浪人授業料金には、４～７月の予備校時間の授業料＋夏期講座３コマ分の授業料を含みます。
※2　後期浪人授業料金には、９～１２月の予備校時間の授業料＋冬期・共通テスト直前講座５コマ分の授業料を含みます。
※2’後期浪人授業料金には、９～１２月の予備校時間の授業料＋冬期・共通テスト直前講座３コマ分の授業料を含みます。



R-進学塾は『全統模試実施校』です。
年間模試代金には、【全統マーク模試】４回分及び、【全統記述模試】３回分が含まれております。
各大学別のプレテスト代金は別途必要となりますので予めご了承ください。
テキスト代は上記授業料に含まれております。

放課後料金

前期合同授業、後期合同授業について

原則、１月あたり３回の授業を確保していますので、前期・後期ともに４カ月で１２回の授業を行います。
予備校生は１コマ１月あたり￥5,000の授業料で受講することができます。ただし、４月期・９月期は前期後期の最初の月にあたりますので、体験授業として無料で受講できます。

夏期講座、冬期・共通テスト直前講座、二次直前講座について

合同授業と同様に予備校生は１コマあたり￥5,000の授業料で受講することができます。ただし、理系は5コマ、文系は3コマ分無料で受講できます。
（前期・後期授業料金に含まれます。左頁参照）

放課後料金の上限金額

合同授業及び各種講座を合わせた放課後料金には年間での上限を設定しています。￥200,000(無料講座分を除いて40コマ分)を越える場合、それ以上の金額は頂きません。

１年間にかかる学費

（年間学費）＝（予備校時間料金）＋（放課後料金）
（合同授業・各種講座）

となります。放課後料金には上限がありますので、年間学費は上限で

理系⇒￥880,000 ＋ ￥200,000 ＝ ￥1,080,000
文系⇒￥780,000 ＋ ￥200,000 ＝ ￥ 980,000

となります。

合格体験記

土佐高校卒　自治医科大学　医学部医学科合格
Ｋ・Ｍさん

私は一浪を経て二浪目にRにたどり着きました。
一浪目に通っていたのは大手の予備校なので、さすが素晴らしい授業を展開してくれるのですが、すごいということはわかっても、問題を解けるということには繋がりませんでした。常に「だから、何？」という疑問が頭から離れないままぐずぐずと一年は過ぎ、やっているのに成果が出ない、という精神的にも良くない日々でした。なんかよくわからんけどできんという気持ち悪い感覚のまま、二浪が決まりました。
Rのいいところは、解けるようになる授業をしてくれるところです。
「解く」というのは、突飛なテクニックを駆使することや、場当たり的な導出をすることではなくて、やるべきところで当たり前にやるべきことを積み重ねるものであるということをこの一年で思い知らされました。やるべきことをやりさえすれば、いつの間にか解けているという感覚を初めて知りました。いくら解くための道具があっても、使う場所と使う意味が分からなければなんの意味もありません。それまで、なんとなく微分、たぶん微分とかやっていた前の自分があほらしいなと思いました。
そういうことが分かってきたのはもうだいぶ寒い頃でしたが、試験の前も最中も「やるべきことをやって！！！」が響いてくるので、普通にやるべきことをやって、第一志望の合格を手に入れることができました。
自分が頑張るのは大事なことですが、いくら自分だけで頑張ってもうまくいかないことやよくわからないことはどうしても出てきます。「わかるけど、わかっているはずなんだけど、あれ？」という四月の私のような人はたぶんいっぱいいて、もう投げ出したくなっている人もたくさんいることでしょう。そういう人たちが「なんとなく」「たぶん」を捨てて、本当の「わかる」「解ける」を手にできる場所が、Rという塾だと思います。

土佐高校卒　京都大学　法学部合格
Ｉ・Ｋくん

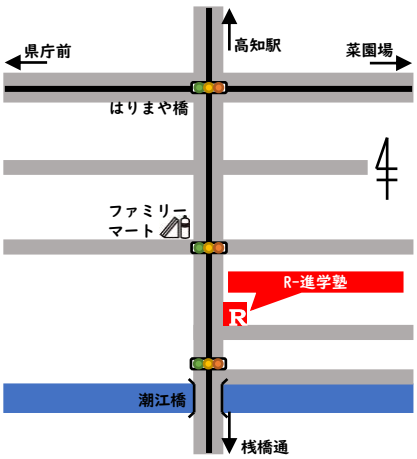
僕は、現役時に本命だった神戸大学の受験に失敗し、浪人することを決めました。初めて、R-進学塾の体験授業に行った時に、岡林勇三郎塾長の数学の授業に感動しました。その時に言われたのが、「天才になることはできないけど、試験会場で天才と同じ答案を作ることはできる」といったことでした。正直、数学はセンスのある人間にしか出来ない科目だと信じきっていた僕の考えはその時に変わり、また数学だけではなく勉強そのものについての考えも変わりました。R-進学塾のスケジュールは確かにハードだけど、授業の雰囲気は常にピリピリした感じではなく、メリハリのきいた授業だったので、勉強が心から嫌になったことはありませんでした。
決して賢くもなく、真面目でもない僕を嫌うことなく優しく接してくれた講師の方々にはすごく感謝しています。
上から目線で申し訳ないですが、受験生にアドバイスをするならば、それは「適度にサボって本気で勉強する」です。ずっと本気で勉強し続けられる人間はほんのわずかだと僕は思っています。ならば、他の人間が３時間かかる勉強内容を１時間で終わらせ、２時間休んだ方が、絶対良い気がします。なんとなく、だらけて勉強するのは本当に良くないです。現役の時の僕はそれでした。自分でしっかり目標を立てて、オンとオフをはっきりさせて勉強頑張ってください。
二回目になりますが、R-進学塾にはすごく感謝しています。ありがとう！

追手前高校卒　九州大学　医学部医学科合格
Ｓ・Ｏくん

Rで二浪して、九州大学医学部医学科に合格しました。一浪目は慶応の理工と中期・後期の大学を押さえていましたが、親に無理をいってもう一年浪人させてもらいました。
浪人するときに、高校の先生には医学部（医学科）は無理だと言われました。しかし、Rで学んでいると模擬試験等で、着実に力がついてきていることは分かったので、すこしレベルを上げて九州大学を受験しました。めきめきと力をつけることができたのはRのおかげです。
Rで浪人してよかったことは、日頃から東京・京都の問題を解いていたことです。そのため自然と思考力が付きました。今年の九州大学の数学は去年よりも誘導が少なくなり、難化していましたが、浪人授業で誘導のない東京・京都の問題は解きなれていたので難なく対応できました。これは数学だけでなく理科も同様です。秋ごろからはひたすら東京を解いていました。全員が同じ問題を解くのではなく、志望大学ごとに授業が分かれるので、個々のレベルに合った授業を受けられます。
Rがどんな予備校か、もっと詳しく説明したいのですがキリがありません。実際にRに来てみないとわからないこともあります。百聞は一見に如かず。浪人を考えている人、本気で志望校に合格したいと考えるのなら、Rで実施している体験授業を受けてみてはどうでしょうか。
最後に、この二年間切磋琢磨し、ともに高め合える仲間と出会えて良かったです。Rで浪人させていただきありがとうございました。

追手前高校卒　奈良女子大学　文学部合格
Ｙ・Ｎさん

私はR-進学塾に二浪目で入塾しました。
一浪目に通っていた県内の大手予備校は学校を意識した時間構成で、細かくコース分けされていました。高校と同じような環境だったため順応しやすかったのですが、授業が夕方までしかなく、その後の時間は自習をしていましたが、長くは続かず、一年間やりきることができなかったため、二浪が決まりました。
Rに通い始めると、驚きの連続でした。「班制度」というものがあり、班での復習時間に班員に気軽に質問をすることができ、職員に質問に行くのは緊張するという人も、わからないところを確実になくしていけます。生徒同士での助け合いもとても力になりましたが、やはり一番は授業です。Rでは「鮮やかな解法で、お手本のような綺麗な答案」をつくる力ではなく、「確実に点がもらえる答案」をつくる力を身に着けることができます。“この言葉を見たら、これ”というように問題文からヒントを見つけて、“やるべきことをやる”だけです。この手法をマスターするだけで解ける問題が一気に増えます。
高校と似たような感じだから、友達が行くから、大手だから、などの理由で予備校を選んでは志望校には絶対届きません。一年後に笑うために、ぜひRで充実した浪人生活を送ってください。



R-進学塾

〒780-0833
高知市南はりまや町1-6-12
☎088-883-0111